



広報

にしおこっぺ

2026
令和8年

冬号

No.341



二十歳を祝う会（令和8年1月5日）

主な内容

【頁】

- 議会通信2～7
- 民生委員4名が厚生労働大臣および北海道知事感謝状を受賞... 8
- 民生委員・児童委員の皆さん 9
- 各種おしらせ10
- 第5回来未来につなごう！西興部村シナノキ植樹.....11
- ミルクデザイン(株)が北海道地区版
「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選ばれました...11
- 株中神土木設計事務所様よりご寄附をいただきました...12
- 西興部中学校生徒が中学野球韓国大会に出場しました...12
- クリスティーン・ハフALT講師の滞在記14～15
- 夢のおくりもの15
- 成田直人氏が「旭日双光章」を受章されました...16
- 上興部林業グループが「北海道社会貢献賞」を受賞されました...16

＝村づくりの合言葉＝

(第5期西興部村総合計画より)

>>>> 夢、おこす村
 >>>> **にしおこっぺ**

LINE
公式アカウント

友だち
募集中



LINE
公式スタンプ

スタンプの
購入はこちらから



西興部村ホームページ <https://www.vill.nishiokoppe.lg.jp>

交通事故死ゼロ新目標35年（令和12年1月30日24時）達成予定

議会通信

【第4回定例会（令和7年12月12日招集 会期4日間）＊1日間で議了】

■一般行政報告（菊池村長）

報告事項	報告内容
1. 工事請負契約等の締結について	令和7年第3回村議会定例会（9月17日）以降の工事等発注状況（工事金額等が議決要件に満たないもの）について（別表1のとおり）
2. 寄附の受納について	令和7年9月1日から11月末日までの寄附の受納状況 ・ふるさと振興事業基金 2件 200万円 ・ふるさと応援寄附金 219件 587万9千円
3. 諸要望について	(1)10月24日、オホーツク圏活性化期成会において、管内の懸案事項について、北海道並びに管内選出北海道議会議員に対して要望しました。 (2)11月13日、高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会において、各関係省庁並びに道内選出の国会議員に対して、次の事項を要望しました。 【高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会要望事項】 ○旭川・紋別自動車道の事業推進 ・「遠軽～上湧別道路」の整備促進について ・「上湧別～紋別」間の調査促進について (3)11月17日、全国過疎地域連盟北海道支部において、道内選出の国会議員に対して、次の事項を要望しました。 【要望事項】 ①過疎対策事業債及び辺地対策事業債の確保について ②過疎対策事業の拡充について ③集落対策支援の強化について ④過疎市町村の税財源の確保・充実について (4)11月18日、北海道酪農振興町村長会議並びに公社営畜産事業推進協議会において、酪農畜産の持続的な発展と、草地畜産基盤整備事業の計画的な推進について、農林水産省並びに道内選出の国会議員に対して要望しました。 (5)12月7日、自由民主党移動政調会が行われ、次の事項を要望しました。 【要望事項】 ①国道239号線天北峠の視距改良工事の早期完成について ②主要道道遠軽雄武線（上藻地区）の整備促進について ③道営草地畜産基盤整備事業（草地整備型）の推進について

■審議された議案等と審議結果

議案番号	議案等	議案等の内容	審議結果
報告第1号	専決処分した事件の報告について	下記契約について、「数量変更等」による設計変更を行うため、契約金額の変更を行った専決処分について報告を受けました。 (契約名) 中興部六興線道路改良工事 (契約の金額) 5,720万円を5,811万3,000円に変更	報告事項のため、採決はありません
承認第1号	専決処分した事件の承認を求めることについて	令和7年度一般会計補正予算（第7号） バイオガスプラントみかん栽培ハウスの温水配管の補修に要する費用の増額補正について審議しました。 (補正額) 1,150万円 (補正後予算総額) 29億7,359万2,000円	原案承認

議案番号	議案等	議案等の内容	審議結果
承認第2号	専決処分した事件の承認を求めることについて	令和7年度一般会計補正予算(第8号) スポーツ・文化全国・全道大会出場補助金に係る増額補正について審議しました。 (補正額) 44万2,000円 (補正後予算総額) 29億7,403万4,000円	原案承認
承認第3号	専決処分した事件の承認を求めることについて	令和7年度一般会計補正予算(第9号) ALT住宅の給湯ボイラー更新に要する費用の増額補正について審議しました。 (補正額) 22万円 (補正後予算総額) 29億7,425万4,000円	原案承認
議案第1号	オホーツク町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及びオホーツク町村公平委員会規約の変更について	令和8年4月1日から、オホーツク町村公平委員会に斜里町が加入することに伴う、自治体の数の変更と規約の変更について審議しました。	原案可決
議案第2号	西興部村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院が国に対して行った勧告に準じて、職員の給与等の改正を行うため、条例の一部改正について審議しました。	原案可決
議案第3号	西興部村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員の給与等の改正に準じて、期末手当の支給割合を改正するため、条例の一部改正について審議しました。	原案可決
議案第4号	西興部村議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	常勤で特別職の給与等の改正に準じて、期末手当の支給割合を改正するため、条例の一部改正について審議しました。	原案可決
議案第5号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員の給与等の改正に準じて、期末手当及び勤勉手当の支給割合を改正するため、条例の一部改正について審議しました。	原案可決
議案第6号	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員の給与等の改正に準じて、給料表を改正するため、条例の一部改正について審議しました。	原案可決
議案第7号	西興部村火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	気象庁が発表する注意報において「異常乾燥注意報」が「乾燥注意報」に変更されていることから、条例中の文言を改正するための条例の一部改正について審議しました。	原案可決
議案第8号	令和7年度西興部村一般会計補正予算案について	一般会計補正予算(第10号) 事業費の確定に伴う予算の減額のほか、人事院勧告に準じた職員給与、札幌排水路更新工事などの増額補正及び地方債限度額の変更について審議しました。 (補正額) 4,228万6,000円 (補正後予算総額) 30億1,654万円	原案可決



議案番号	議案等	議案等の内容	審議結果
議案第9号	令和7年度西興部村国民健康保険事業特別会計補正予算案について	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 一般被保険者医療給付費の減額のほか、子ども・子育て支援金制度対応システム改修に要する経費の増額補正について審議しました。 （補正額）78万円 （補正後予算総額）1億1,453万4,000円	原案可決
議案第10号	令和7年度西興部村後期高齢者医療特別会計補正予算案について	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 北海道後期高齢者医療広域連合に対する負担金及び子ども・子育て支援金制度対応システム改修に要する経費の増額補正について審議しました。 （補正額）188万3,000円 （補正後予算総額）2,351万3,000円	原案可決
議案第11号	令和7年度西興部村介護保険特別会計補正予算案について	介護保険特別会計補正予算（第2号） 介護予防・生活支援サービス事業費の増額のほか、介護報酬改定等に伴うシステム改修に要する経費等の増額補正について審議しました。 （補正額）239万1,000円 （補正後予算総額）1億4,910万9,000円	原案可決
議案第12号	令和7年度西興部村簡易水道事業補正予算案について	簡易水道事業会計補正予算（第3号） 収益的収入及び支出、資本的収入及び支出において、それぞれの事業費の確定に伴う減額補正等について審議しました。 【収益的収入及び支出】 （補正額）△176万2,000円 （補正後予算総額）8,170万円8,000円 【資本的支出】 （補正額）△221万9,000円 （補正後予算総額）5,182万円	原案可決
議案第13号	令和7年度西興部村下水道事業補正予算案について	下水道事業会計補正予算（第3号） 収益的収入及び支出における事業費の確定に伴う減額補正等のほか、資本的収入及び支出における終末処理場管理等の非線形解析耐震診断に要する経費の増額補正及び企業債限度額の変更について審議しました。 【収益的収入及び支出】 （補正額）△32万2,000円 （補正後予算総額）1億666万5,000円 【資本的支出】 （補正額）640万5,000円 （補正後予算総額）9,411万6,000円	原案可決

第四回定例会

一般質問

■子育て支援について

（質問者 吉水一男議員）

子育て支援についてご質問いたします。

本村では様々な子育て支援を実施しております。ブックスタート事業、子供医療費給付事業、エンゼル祝い金事業、夢のおくりもの事業、おむつ等購入助成事業、保育料無償化事業、学校給食費無償化事業、高等学校通学費等補助事業、奨学金給付事業など、他町村にはない手厚い子育て支援を行っております。

そこで、これらの子育て支援は、それぞれ対象者がおりますが、子育ての支援をするにあたってどのような考え方をもちて事業を決定するのか村長の考えをお伺いします。

（答弁 菊池村長）

ただいまの、吉水議員のご質問にお答えいたします。

子育て支援につきましては、村の総合計画の将来ビジョンとして掲げております分野別目標「出産も子育ても介護も医療も安心できるむら」を一つの柱とし子育て環

別表1 工事請負契約の締結について

入札等 執行 年月日	工事名等	相手側	締結 年月日	工期限 年月日	契約金額 (円)	予定価格 (円)
R7.9.19	公民館電動スクリーン取付工事	(株)小林舞台システム	R7.9.19	R7.10.28	1,980,000	1,980,000
R7.9.30	Office365役場分ライセンス利用委託業務	(株)小柳中央堂	R7.9.30	R7.10.31	1,062,600	1,430,000
R7.9.30	令和7年度西興部村有施設消防用設備等点検業務	北海道総合防災設備(株)	R7.9.30	R7.12.22	1,071,400	1,139,281
R7.10.3	村有林新植事業	オホーツク中央合 森 林 組	R7.10.3	R7.12.19	2,090,000	2,192,300
R7.10.9	除雪管理システム	ワイズ公共データシス テム(株)北海道営業所	R7.10.9	R8.3.31	2,145,000	2,156,000
R7.10.28	村道除雪委託業務No.1	(株)郡士木	R7.10.28	R8.3.31	16,060,000	16,203,000
R7.10.28	村道除雪委託業務No.2	島田電気(株)	R7.10.28	R8.3.31	8,635,000	8,745,000
R7.12.3	北電柱変更に伴う村光ケーブル支障移転工事(忍路子)	N T T 東 日 本 (株)	R7.12.3	R8.3.25	1,925,000	1,947,000

境の充実に向け、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、様々な事業を展開しております。

手厚い子育て支援を行う背景には、主に「人口減少対策」「住民の満足度向上」「地域コミュニティの維持・活性化」といった戦略的な考え方があり、単なる福祉政策にとどまらず、自治体の存続と発展のための重要な投資と考えております。具体的には、先ほど議員が言われました事業の他にも産前産後サポートはじめ予防接種、親同士の交流機会の創設など妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組んでおります。

国においても、こども家庭庁の創設や「こども未来戦略方針」、「加速化プラン」に基づき、子育て世帯の負担軽減や出生率の改善を重要政策として掲げ、児童手当の拡充や保育の無償化、出産・子育て支援の強化を進めておりますが、村においては、一歩先んじた取り組みを進めていると考えております。

全国的に少子高齢化が進む中で、子育て支援を充実させることは、若い世代の転入や定住を促す強力な「動機付け」となり得、結果として、村の人口維持・増加に繋がると考えます。また、独自の

給付金、医療費助成、学校給食費の無償化など経済的な負担軽減や、産前産後サポート、親同士の交流、保育所の充実など利便性の高いサービスを提供することは、住民の子育てに対する不安を解消し、生活全体の満足度を高めることに繋がります。産前産後の家庭訪問や親同士の交流を図るキッズサロンの開設など、妊娠期から出産、育児期、学齢期まで、保健師や保育士による一貫した切れ目のない相談・支援体制は、保護者が孤立しないメンタル面のケアとして、重要と考えます。

さらに、子どもの健やかな成長を村全体で支える視点のもと、経済的困難を抱えている家庭においても生まれ育つ環境に左右されることなく、等しく成長の機会を確保できるよう、子育て世帯の経済的負担を軽減すること。加えて、保育や働き方に応じた支援として、保育所の一歳から三歳未満児の受け入れや土曜日保育や延長保育、一時預かりサービスの実施により、仕事と家庭を両立できる環境も整備してきました。これらの考え方に基づき、子育て家庭の実際や社会情勢の変化を踏まえ、必要な支援を実施しております。引き続き、子どもたちの健やかな成長と子育てしやすい地域づくりを

長と子育てしやすい地域づくりを目指し、施策の充実に努めて参ります。

以上を申し上げ、吉水議員の質問に対する答弁といたします。

(再質問)

村として、いろいろな計画に沿って、また時代の流れによって様々な支援の拡充をされているということですが、年齢的にどこまで支援するのか、そして、村の子どもたちにどうなって欲しいのかということをお伺いいたします。

(再答弁)

子育て支援につきましては、先ほども申し上げましたが、親や家庭が子どもを育てるために必要な支援、サポートを提供することで、子育てしやすい環境を整え、また家庭での出産・育児に抱えている不安を解消するといったことが必要ですし、また国としても人口減少に対して様々な支援制度を実施、拡充しているところでもあります。そのような中で、年齢的には、やはりいわゆる子育て支援としては、子どもが生まれる前から、いわゆる結婚・出産、それから育児・教育といった切れ目のない支援をしていかなければならないと考えておりますので、高校卒



業までの医療費無償化などを実施しているところです。

また、単なる子育て支援だけでなく、人口減少対策で考えますと、今の時代、大学等にも多くの方が進学するわけでありまして、出生が少ない中で、一人でもこの村に戻ってきていただきたいという思いがあり、本年度から、いわゆる給付型の奨学金の制度を作るなどして支援し、その後も、この西興部村の将来を担ってもらいたいと考えております。

いずれにいたしましても、私が就任して以来、出産期または育児期、教育期、それぞれの期において要望されているような施策はもれなく実施していると思いますし、この村を維持していくためには、子どもはやはり村の宝でありますので、一人でも健やかに育てていただくといったことと、また一人でも多く戻っていただきたいという思いで事業を実施しております。

(再々質問)

村の子どもたちの支援には個人の差があつてはならないと思いますので、私としては、支援は義務教育までだと思っております。

ほとんどの子どもが高校には進学する中で、高校までの交通費を

支援してあげるのは、村に高校がないわけですから、そこまではわかりません。

ただ、高校卒業後の給付型の奨学金というのは、限られた人しかそれ受けられないはずですので、私は、基本的には義務教育プラス高校までの支援までが良いかと思

(再々答弁)

議員によりますと、義務教育までの支援が子育て支援でないかという考え方がございますが、私としてはやはり大学も含めて支援すべきだと思っております。

平等であるかないかというわけですが、大学ではなくても、例えば専門学校へ行くのであつても支援していく施策を考えていかないと、この村に来ていただける、また、今現在この村に住んでおられる家族が、それではここでは生活できないということでは転出してしまふ可能性もあるのではないかと思っておりますので、そのような観点から、私としては本年度の政策によつて、高校の下宿や通学費の増額や奨学金の制度を創設しており、それらは全て、単なる子どもへの支援だけでなく、やはり人口減少対策も含めたものと考えております。

■人口減少対策について

(質問者 吉水一男議員)

人口減少対策についてご質問いたします。

人口減少対策は本村にとつて大変重要な課題だと思つております。そこで、菊池村長が就任以来ここまでどのような対策を行い、どのような成果があつたのか、そして次年度ではどのような対策を検討されているのか村長の考えをお伺いします。

(答弁 菊池村長)

ただいまの、吉水議員のご質問にお答えします。

私は、平成二十七年一月に村民の皆様から温かく厚きご支援を賜り、村政の重責を担わせていただき、現在三期目の村政の舵取りを託されているところであり、村長就任以来、「村民の夢叶うむらづくり」を掲げて、村政の発展に努めて参りました。

ご質問の「人口減少対策」であります

が、日本の人口は、平成二〇年の一億二八〇八万人をピークに減少の一途をたどり、近年は加速度的に進んでおり、今年一月一日時点では一億二〇六五万人と一七年連続で減少しております。

出生数につきましては、第二次ベビーブーム期の昭和四八年の二

一万人をピークに減少し、昨年の出生数は六八万六〇六一人で、明治三二年の統計開始以来初めて七〇万人を割り込みました。

最新の国の推計によりますと、今から約三〇年後の二〇五六年には総人口が一億人を割り込むとされ、地域によっては大きな差があり、地方の減少が顕著となっております。急激な人口構造の変化は深刻な影響を及ぼし、地域経済活動や税収への影響、公共サービスの維持が困難となつて参ります。

西興部村の人口推移であります。値では、一一月末現在で九三七人となつており、一〇年前の平成二七年の国勢調査時の比較では、△一七九人で、約一六％の減少となつております。これは近隣自治体でも減少しておりますが、内陸部に位置する滝上町、下川町、置戸町、津別町などは、減少率が二〇％を超えており、人口減少問題は農村部において深刻な問題であることは言うまでもありません。

さて、ご質問にあります「私が就任して以来これまでどのような対策を行い、どのような成果があつたか」についてであります。人口減少への歯止めと東京一極集中是正、地域経済縮小の克服に向

けて、平成二六年に国が制定した「まち・ひと・しごと創生法」を受け、本村における人口減少問題と地域活性化に向けた対策を講じるため、平成二七年一月に「西興部村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

現在、第三期総合戦略の計画期間中でありまして、この間、住むことに誇りと喜びが実感できる「村民の夢叶うむらづくり」を掲げ、地域の「課題解決に取り組んできたところ」です。

この一〇年間に取り組んできた多くの施策が直接的又は間接的に人口減少対策に関連するものであり、一例を挙げますと、ハード事業では、買い物弱者対策として整備した地域商業施設(現Qマート)をはじめ、観光情報発信や子育て支援の拠点である里住夢、酪農業の課題解決のために整備した畜産バイオガスプラント、地域資源の活用を図るために整備したエゾシカ革なめし工房、村の大きな雇用の場となつている福祉施設や楽器工場の整備支援、交流人口の拡大に向けたホテル森夢や森林公園の改修などを行つて参りました。また、地域医療の充実を図るため、診療所医療機器の整備を図つて参りました。

ソフト事業では、妊娠・出産、子育て支援に関する新規事業の創設や既存事業の拡充、保育料や小中学校の学校給食費の無償化、高校への通学・下宿の助成、大学等の奨学金給付支援と、切れ目のない支援策を講じ、村内における子育ての負担軽減に努めているところです。また、高齢者向けの施策として、通院助成の拡充、肺炎球菌や带状疱疹、新型コロナウイルスなどの予防接種助成の新設、運転免許自主返納補助金や急発進抑制装置補助金、買い物バス利用補助金の創設など、いつまでもこの地域で暮らせるよう、必要な支援を行っているところです。

その他「美しく住みよい活力あるむらづくり応援事業」など、村での生活が楽しめるよう、村民の皆さんが自主的に企画するイベントなどへの支援や、定住に向けた持ち家建設奨励補助金の拡充、快適な住環境を確保するためのリフォーム補助金の創設、起業や中小企業振興を目的とした「中小企業等ふるさと創造支援事業」の創設、地域おこし協力隊制度の積極的な活用、基幹産業である酪農業への各種支援など、誰もが住んでいて良かったと思える村づくりに取り組んで参りました。

「人口減少対策の成果」についてであります。全国ほとんどの地域で人口は減少しておりますが、先ほど申しましたとおり、私が村長に就任した一〇年前と比較した人口減少率は、内陸部の町で二〇%以上であります。本村は約一六%であること。また、今年一月一日現在の高齢化率につきましては、本村は三六・五%で、道内一七九市町村のうち、低い方から五三番目で、オホーツク管内では低い方から五番目と、若者が就業や生活ができる環境が整っており、福祉や楽器工場の人材確保支援による効果が大きいと考えております。

また、「次年度ではどのような対策を検討しているのか」につきましては、令和八年度予算が私の三期目最終年の予算編成になります。

一〇月に開催した予算編成会議の冒頭で、私から職員に対し、「人口減少を止める対策は何か、何をすれば村の活性化につながる、より良い村づくりの施策は何かを、全職員が一人ひとり考えて企画提案し、課内で議論して予算反映させることが大事である」と申し上げたところであります。いずれにいたしましても、現

在、令和八年度予算編成作業を行っている最中であり、年明けの予算審議の場でお示しいきたいと考えております。以上申し上げ、吉水議員のご質問に対する答弁といたします。

(再質問)

次年度については、現在予算編成を実施しており、職員の皆さんに企画提案を指示しているということですが、村長自身はどのような考えでいらっしゃるのかということをお伺いしたいと思います。

(再答弁)

先ほど申し上げましたとおり、就任以来、様々な施策を掲げて、毎年進めてきた経過にあります。本年度につきましては、ソフト面の補助制度としては、一〇項目以上を拡充・創設し、人口減少対策を進めております。

ハード面につきましては、それぞれの公共施設がかなり老朽化してきておりますので、今後の更新等も必要であると考えております。

来年度は私の任期三期目としての最終年になりますけれども、この三期目に掲げさせていただいております公約の中といたしましては、ある程度の部分につきましては、政策として作り上げてきたつもりであります。今後とも人口減

少を止めるためには、住居環境が重要と感じております。

ハード事業で申し上げますと、私の公約の中に、民間賃貸住宅の建設がありますが、これは、今、ペットを飼って住みたいという方が多い中で、民間事業者に建設していただいた住宅で実現したいという思いがありますので、今後はそういった進め方も一つではないかと思っております。また、体験農園の整備としては、管理棟の利活用が課題となっております。

これらにつきましては、内部で協議しながら、また財政的な部分も熟慮した中で、もし進められるようになりましたら、議会の方にもご提案申し上げたいと考えております。

(再々質問)

やはりうちの村は公営住宅に頼っているのが現実だと思っております。公営住宅もかなり老朽化してきて、空き室もある状況だと思っております。可能かどうかわかりませんが、例えば、空いている数戸を廃止して、その代わりに民間事業者の方に建ててもらおうような、そのような考えはないかお聞きいたします。

(再々答弁)

急激な人口減少の中で、公営住

宅が空いている部分もありますし、老朽化も進んでおります。

そのような中で、公営住宅に限らず公共施設の改修・管理計画の策定を来年度以降やついでにと、現在内部で進めているところがあります。

公営住宅につきましては、特に単身者の住宅が足りない部分もありますので、議員の言われましたとおり、既存の解体ですとか、新しいものをどのようにしていくかということを含めて、今後検討していきたいと考えております。



民生委員

松岡 晃司氏 太田 知津子氏
中原 慎一氏 古川 彰氏

厚生労働大臣 および 北海道知事感謝状 を 受賞

この度の民生委員・児童委員の改選に伴い、退任された4名に厚生労働大臣および北海道知事の感謝状が菊池村長から伝達されました。

この感謝状は、民生委員としてその職務に励まれ、社会福祉の増進に貢献されたご労苦に対して受賞されるものです。

松岡晃司氏は平成26年1月から11年間、太田知津子氏は平成27年2月から10年間、中原慎一氏は平成28年12月から9年間、古川彰氏は令和元年12月から6年間それぞれ民生委員として、地域の人々から、生活のことや家族のこと、様々な悩み事の相談相手として親しまれてきました。受賞おめでとうございます。



松岡 晃司 氏

太田 知津子 氏

中原 慎一 氏

古川 彰 氏

民生委員・児童委員の皆さん

民生委員・児童委員が、令和7年12月1日付けで改選されましたので、各地域での相談者となる皆さんをご紹介します。

■民生委員・児童委員は、地域に暮らす身近な相談相手として、医療や介護、子育ての不安など、住民のさまざまな相談に応じています。そしてその課題が解決できるよう、関係機関への「つなぎ役」になります。

民生委員

(敬称略)



亀井 洋一 委員

(上興部東部・奥興部・札滑・東興地区)



浅野 千世 委員

(上興部西部・中部地区)



日下 忠之 委員

(西興部1東・1西地区)



木村 美幸 委員

(西興部中央・2)



菊川 博幸 委員

(西興部3)



大澤 和清 委員

(中興部・上藻・中藻・七重・忍路子)

児童委員

(敬称略)



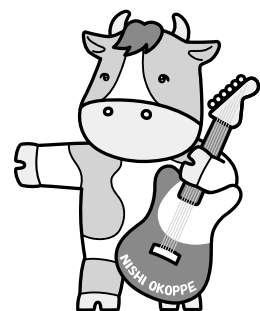
松浦 隆子 委員

主任児童委員・全村



佐々木 由紀子 委員

主任児童委員・全村



各種お知らせ

【役場からのお知らせ】

■燃やすごみの中にリチウムイオン電池を入れてはいけません

収集した燃やすごみは村ごみ処理場に搬入後、紋別市にある西紋別地区広域ごみ処理センターに運び、そこで処理していますが、先日、同センターから燃やすごみの中にリチウムイオン電池が混入したことが原因の小規模な火災が発生したという報告を受けました。今回の火災ではごみ処理に大きな影響はありませんでしたが、処理施設が停止という事態になる可能性もあります。

以上のことから、燃やすごみの中にリチウムイオン電池を入れるようご協力をお願いします。リチウムイオン電池は「危険ごみ」として出してください。

◇お問い合わせ

西興部村役場住民生活課環境係
電話 87-2114

【日本年金機構からのお知らせ】

■「ねんきんネット」サービスの紹介

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォン等でご自身の年金記録の確認や将来の年金見込額の試算、各種通知書などの年金情報を手軽に確認できるサービスです。

その他、国民年金保険料控除証明書などの再交付申請や保険料の免除・納付猶予申請などの届書の作成・印刷もできるため、役場窓口や年金事務所に行く手間を省くこともできます。

詳しくは

日本年金機構ホームページ

(<https://www.nenkin.go.jp/>)

内の「ねんきんネット」ページをご覧ください。

また、利用登録はマイナンバー

ルからも申請することができます。※マイナンバーを利用するためには、マイナンバーカードの取得が必要となります。

【厚生労働省からのお知らせ】

■令和8年度労働基準監督官採用試験の実施について

1. インターネット受付期間
2月19日(木)～
3月23日(月)【受信有効】

https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/sennmonsyoku_daistusu/rouki/rouki_daistuh.html



2. 受験資格

(1)平成8年4月2日～

平成17年4月1日生まれの者

(2)平成17年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの

①大学（短期大学を除く。）を卒業した者及び令和9年3月

までに大学を卒業する見込みの者

②人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

3. 第1次試験
5月24日(日)

4. 第2次試験

7月7日(火)～7月10日(金)の指定された日

5. 問い合わせ

北海道労働局総務部総務課

人事第一係

電話 (011) 709-2311

内線 3508

住所 〒060-8566

札幌市北区北8条西2丁目1番1

札幌第1合同庁舎9階

【その他】

■電気ご使用開始には通電（遠隔操作）が必要となります

令和8年5月から、引越しなど

による電気の使用は、ほくでんネットワークによる電気メーターの

通電（遠隔操作）が必要となります。希望日から電気を使用するためには、まず、契約を希望する電力会社へ使用開始の手続きが必要です。ほくでんネットワークは、電力会社からの申込みを受けて使用開始日までに通電（遠隔操作）を行います。

電気の使用が決まったら電力会社へ早めの手続きをお忘れなく。

◇問い合わせ先

ほくでんネットワーク(株)

紋別ネットワークセンター

電話 (0120) 06-0229 (ガイダンス5)

新規採用職員の紹介

西興部村

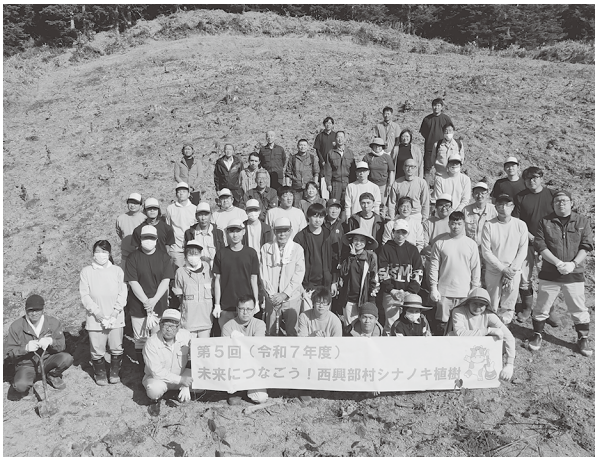


(産業建設課 建築係)
栗澤 達也

今までの経験を生かし
西興部村のためにがんばります。



第5回 未来につなごう！ 西興部村 シナノキ植樹



昨年10月4日(土)にオホーツク楽器工業(株)と共催で東興の村有林内で「シナノキ植樹祭」を行いました。
当日は、オホーツク楽器工業(株)の従業員、関係者など約50名で500本0・2haのシナノキの植樹を行いました。
この事業は、令和3年度から行っており、ギターの原材料となるシナノキを植樹し、将来の地産地消を目指すとともに森林の普及啓発活動として、森林環境譲与税を活用して行っております。



ミルクデザイン株式会社が 北海道地区版「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に 選ばれました



この度、ミルクデザイン(株)（代表取締役社長 山田尚大氏）が令和7年度北海道地区版「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」ビジネス・イノベーション部門に選定され、去る12月17日にミルクデザイン株式会社内で選定証授与式が行われました。
この「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、農林水産省により主催され、選定委員会により、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、地域資源を活用し、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例と認められた企業に贈られます。
今回、ミルクデザイン(株)が農山漁村の有するポテンシャルを引き出し、地域の活性化等に取り組んだ実績を認められ北海道地区で選定されました。



株式会社 中神土木設計事務所 様より ご寄附をいただきました



中神土木設計事務所取締役副社長 小杉 様（右側）

去る10月16日、株式会社中神土木設計事務所様より、開村100周年記念をお祝いして、「西興部村のふるさと振興事業のために役立てて欲しい」と百万円のご寄附を頂きました。

株式会社中神土木設計事務所様のご厚情に感謝申し上げますと共に、厚くお礼申し上げます。ご寄附は大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

西興部中学校生徒が 中学野球韓国大会に 出場しました



遠紋地域を中心とした中学生で構成される軟式野球クラブチーム「オホーツクベースボールクラブ・アミーゴ」が、昨年11月1日・2日に韓国・ソウルで開催された「第2回U-15日韓親睦交流選抜野球大会」に、北海道代表として出場しました。

西興部中学校からは、同チームに所属する小笠原蓮さん（3年）、津島風太さん（2年）の2名が参加し、出発に先立ち菊池博村長を表敬訪問し、大会での健闘を誓いました。

大会では、現地ソウルの中学校野球チームと3試合を戦い、初戦は惜しくも僅差で敗れたものの、続く第2戦・第3戦では大差で勝利し、通算成績は2勝1敗と好成績を収めました。2人はそれぞれの試合で持てる力を存分に発揮し、出発前に誓ったとおりの活躍を見せてくれました。

子育て支援センター『里住夢』だより

明けましておめでとうございます。

今年も、元気な子どもたちの声を聴きながら、楽しい時間を過ごしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、冬の里住夢は季節の行事として、お正月の遊びを中心に雪遊びや冬ならではの製作、節分、おひな様等、親子で楽しめる内容を盛りだくさんで計画しています。

外は寒く、室内で過ごしがちですが、お子さんは雪だるまつくりやソリ遊び

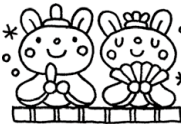
等、今の時期にしかできない遊びをたくさん経験しながら、寒さに負けない体力作りも、こうした雪遊びの中から自然と身につけてくることでしょう。

雪の上を歩くだけでも、子どもにとっては、全身のバランスを取る、脚力を使う、等の運動にもなりますよ。



支援センターでも雪遊びの日がありますので、つなぎや長靴、帽子、手袋を用意して、暖かい服装で来てくださいね。一緒に遊びましょう。

ほっと広場では、お茶会、キッズサロン、助産師相談等、おうちの方がゆったりとリラックスして過ごせるような内容となっております。



美味しいお茶やお菓子をつまみながら、世間話に花を咲かせたり、普段、なかなか言えないことを、講師の先生はじめ助産師や保健師に相談する機会もありますので、是非子育て支援センター『里住夢』に遊びに来てください。

- 開館日 月～金曜日(土・日・年末・年始・祝祭日は休館)
- 開館時間 (10月～3月) 午前10時～午後3時
- 問い合わせ 役場保健福祉課 TEL 87-2114

保健師だより

つまずかない 冬を過ごそう！

冬は気温がぐっと下がり、体が思うように動きにくくなったり、外では路面の凍結や積雪によって滑りやすくなったりと、転倒のリスクが増える時期です。転倒は打撲や骨折につながることもあり、特に高齢の方には大きな負担になります。冬を安心して過ごすために、日頃から「転びにくい身体づくり」を意識してみましましょう。



【筋力低下を防ぐ】

寒くなると外に出る機会が減り、どうしても運動量が少なくなりますよね。運動量が減り筋力が落ちると、ちょっとした段差でもつまずきやすくなります。筋力低下を防ぐために家の中でできる簡単な

運動がおすすめです。スクワット

- ①椅子につかまって立ち、足を腰幅に開く。
- ②背筋を伸ばし、後のある椅子に座るイメージで、ゆっくり腰を落とし、ゆっくり立ち上がる。この動作を繰り返す。

・片足立ち

- ①壁など安定した所に手をつけて片足を上げて1分間静止する。
- ②逆の足も同様に行う。

・つま先立ち運動

- ①椅子に浅く座り、背筋を伸ばす。
- ②椅子の端をつかんだ状態で、両足のかかとを上げて10秒間静止し、ゆっくり下ろす。これを5回繰り返す。

【骨を丈夫にする】

転倒しても骨が丈夫であれば、けがのリスクを減らせます。骨づくりに欠かせないのは、カルシウムとビタミンDです。牛乳、小魚、大豆製品、海藻、きのこ類といった食品を、日々の食事に取り入れることが大切です。

【転倒予防のちょっとした工夫】

外を歩くときは、滑りにくい靴を選び、凍っている場所ではできるだけ避けるようにしましょう。歩幅は小さくし、ゆっくり歩くことがコツです。家の中では、ドアや絨毯の段差、電源コード、暗い廊下、浴室などが転倒の原因になりやすいポイントです。足を整理したり、照明を少し明るくしたりするだけでも予防につながります。

*冬は特に転倒が多い季節です。足元に注意して生活し、怪我無く元気に過ごしましょう！

問い合わせ 保健福祉課 保健係

TEL 87-2114



Assistant Language Teacher

クリスティーン ハフ Christine Huff

Alaska

Juneau



ALT 講師の滞在記

秋はゆっくりと冬へと向かっていきます。ある日、目を覚ますと庭に30センチもの雪が積もっているのに、三日後にはすっかり溶けてしまします。そしてまた雪が降る——。秋なのか冬なのか、判別が付きません！ 自然は決まりごとなんて守ってくれません。

12月21日は冬至、一年で最も昼が短い日です。私が育ったフェアバンクスは北極圏に近く、冬至の日の昼間はたった2時間ほどしかありません。いつも「冬と暗闇は永遠に続くんだ」と感じてしまいます。でも冬至が過ぎると、日が長くなり始めます。毎年のことなのに、必ず驚かされます。「暗い冬はずっと続く」と思っていると、突然そうではなくなると、春へ向かっていくのです。

今年の秋は本当に美しかったです。ベンと一緒に、色鮮やかな紅葉をたくさん見ることができました。記憶違いかもしれませんが、去年よりもずっと鮮やかで美しかったように思います。秋には、何度かハイキングに出かけて紅葉を楽しみました。黒岳ではロープウェイとリフトで上まで行き、山頂まで歩こうとしましたが、巨大な岩と急な坂に負けてしまい、頂上には届きませんでした。それでも、山の上からの景色は壮大で、周りをオレンジ、赤、黄の色が包み込み、疲れた身体には十分すぎるご褒美でした。滝上にも2回行き、溪谷のトレイルを歩き、真紅や

オレンジ、金色の木々を満喫しました。滝上溪谷のトレイルはとてもおすすです。川と峡谷の上にある、簡単で美しいハイキングコースです。滝上町自体もとても素敵な場所です。

9月には知床半島を探検しに行きました。本当は半島周遊の遊覧船に乗る予定でしたが、高波と悪天候で中止に。さらに知床峠では濃い霧で道路すら見えないほどで、絶景ポイントにも見えませんでした！ それでも、オロンコ岩の急で細い階段を登ったり、角度によって本当にゴジラに見える「ゴジラ岩」を見に行ったりして楽しみました。

この秋のお気に入りの旅のひとつが、旭川郊外の当麻鍾乳洞です。とても興味深い場所で、茶色やオレンジ色の鍾乳石がびっしり並び、何層にも続く舗装された遊歩道が洞窟内を上ったり下ったりしています。ミズーリ州の石灰岩の洞窟にとっても似ていて、そこに住んでいたことのある長男のことを思い出しました。ぜひもう一度訪れて、もっと探検してみたい場所です。

他にも、能取湖の真っ赤なサングラスの群生地を訪れ、さらに佐呂間湖や瀧沸湖にも足を延ばして、渡り鳥の白鳥を見てきました。私は鳥が大好きなので

この冬は、今年訪れたお気に入りの場所を、いくつか再訪する予定です。北海道に来てから、山登りをしたり、

噴気孔や温泉を見たり、数え切れないほどの博物館に行ったり、熊への恐怖に怯えながらもできる限りハイキングをしてきました。北海道の観光名所は、ほとんど制覇したと思います。この冬は、新しい場所を探すより、もつとゆつたりとしたペースで過ごすつもりです。

アメリカの祝日について、少し話そうと思います。11月にはアメリカ式のサンクスギビング（感謝祭）を祝いました。これはアメリカの歴史に深く根ざした、食べ物中心の祝日です。ターキーや克蘭ベリーソース、ピーカンパイを作るために、材料を探してネットであれこれ調べる必要がありました（結局、ピーカンは見つけられませんでした）。次はクリスマス。アメリカでは一年で最大の祝日ですが、日本ではそこまで盛り上がりません。そしてお正月。アメリカではそれほど重要行事ではありません。自分では「世界共通」だと思っていたことが、実は文化によって全く違うのだと知るの、とても興味深いことです。だからこそ、日本での生活がとても魅力的なのだと思います。

この秋、私は西興部の家の周りに、チューリップとスイセンの球根を30個ほど植えました。もう一度、春の花を咲かせようという挑戦です——。アラスカの凍える冬に戻る前の最後の試み！ どうか育ってほしい。こちらで

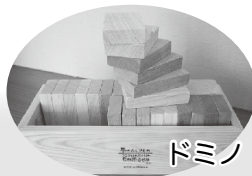


のガーデニングは常に試行錯誤で、アラスカでもあまり上手ではないのですが、こんなにきれいな花が咲く可能性があるのなら、挑戦しないわけにはいきません。滝上町の見事な芝桜の光景が頭から離れず、芝桜の苗も植えてみました。どうなるでしょうか。うまくいったら、5月に報告しますね。

11月には、私の所属する「興部ドゥリーム・コール」で札幌へ遠征し、札幌大学の地域合唱に関する授業で歌ってきました。この温かく才能あふれる女性たちの一員でいられることは、私が日本で過ごしてきた中でも特に大きな喜びです。中には38年以上も歌い続け

ている方もいます！ そんな方々が、私を仲間として迎え入れてくれることに、いつも胸がいつぱいになります。合唱団はどなたでも参加でき、新しいメンバーもいつでも歓迎してくれます。本当に、歌うことが大好きな女性たちの集まりです。

皆さんが、冬の訪れとともに素敵な季節を過ごされていることを願っています。これからも皆さんと、そして西興部の素晴らしい生徒たちと一緒にお仕事ができることを楽しみにしています。どうぞ良いお年をお迎えください。



夢のおくりもの



「夢のおくりもの」事業は、新生児の誕生を祝い、木のぬくもりを感じながら健やかな成長を願うもので、平成25年度からスタートし、これまでに71個を贈呈しました。

令和7年3月から令和8年1月までに出生した2人の赤ちゃんには、吉田副村長から夢のおくりものとしてガラガラなどが手渡されました。



西興部 笠松 まつり 茉莉 ちゃん
かさまつ



西興部 笠松 しずく 雫 ちゃん
かさまつ





成田直人氏が「旭日双光章」を受章されました

このたび、成田 直人氏が令和7年10月1日付けで旭日単光章授章の栄に浴され、去る11月22日、菊池村長より勲記の伝達が行われました。

成田直人氏は昭和28年4月に西興部村に奉職し、住民課長、産業課長等を歴任後、平成元年10月から平成9年4月まで教育長として活躍されました。

その後、平成11年5月に地域住民に推されて西興部村議会議員に初当選以来、平成31年4月までの5期20年の永きにわたり在職し、この間、豊富な経験と卓抜なる識見をもって村政及び地方自治の発展に大きく貢献した功績が認められ、このたびの受章となったものです。



上興部林業グループが「北海道社会貢献賞」を受賞されました

この度、上興部林業グループ（会長 岩野 健一氏）が、令和7年度北海道社会貢献賞（森を守り緑に親しむ功労者）を受賞され、去る12月16日札幌市内で表彰式が行われました。

上興部林業グループは昭和48年に結成され、分収林の造成をはじめ、下刈や徐・間伐作業を通じた実践的な森林整備の取組による森林の健全育成や、林道の草刈りや小径木除去、むら興しまつりでの木こり競争の実施により、森林や林業の理解を深める機会を提供するなど、地域社会に大きく貢献したことが認められ、受賞されました。

人のうごき
(12月31日現在)

(9月30日対比)

人口	936人	(- 2人)
男	475人	(+ 3人)
女	461人	(- 5人)
世帯数	631世帯	(± 0戸)

「でんわんセンター」は、特殊詐欺やその予防などを含め電話を安心して利用していただくため、電話全般に関するお問い合わせ先としてご利用いただけます。

これって特殊詐欺？

知らない番号無視していい？

不審な国際電話を止めた！

警察から電話本当？

03-6162-1111

でんわんセンター
迷惑電話対策相談センター

みんなでとめよう!!
国際電話詐欺
#みんなとめ

不審な電話? 無料相談
denwan.jp

宮崎県警察本部 生活安全部
特殊詐欺被害防止キャラクター
「だまされんG」